

震災の復旧・復興作業を行う皆様へ

一日でも早い復旧・復興に向けて

震災による災害復旧・復興作業ご苦労様です。

十分ご承知かとは思いますが・・・

災害復旧・復興作業は、損傷を受けた建物の補修や、停止した設備の立ち上げなど、通常の業務とは異なる危険を伴います。

過去の震災でも、災害復旧・復興作業などに従事した労働者が多数死傷しています。

(平成7年の阪神・淡路大震災に際しては、約8か月間で死亡35名、負傷672名(休業4日以上)の労働災害が発生しています。)

皆様のご尽力にかかっています

震災復旧・復興作業に伴って労働災害が発生した場合、被災労働者やご家族の悲しみはもとより、災害復旧・復興作業そのものにも大きな影響を与えることになります。

事業主の皆様は、このような趣旨をご理解いただいて、安全な作業が行われるようご留意願います。

特に注意を必要とする作業を列挙します。

安全帯・ヘルメットを着用してください

屋根補修・修繕工事などで高所作業が頻発します。余震の恐れもありますので、墜落や転落の危険が生じます。

手すりなどの有効な墜落防止措置が講じられない場合でも、安全帯を使用したり、ヘルメットの着用でも重篤な災害を防止する効果があります。

(ヘルメットは墜落時保護用をご使用ください。)

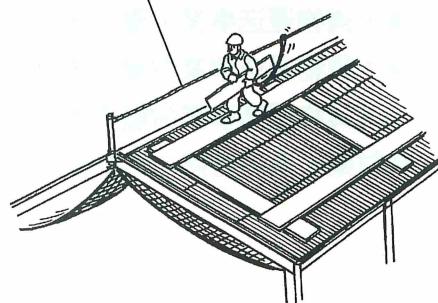


親綱設置
安全帯使用

屋根工事は周囲に配慮をお願いします

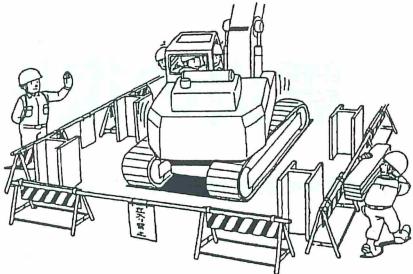
屋根補修・修繕工事においては、壊れた瓦など物が落下する危険があります。

屋根の下で作業する方の安全の確保はもちろんですが、近隣住民の方などの安全にもご配慮をお願いします。(関係者以外は作業範囲に立入らせないでください。)



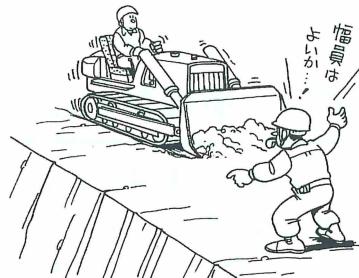
重機との接触にご注意ください

解体作業や土木作業では重機類が活躍します。復旧現場では作業が錯綜しますので、重機のバケットや旋回体との接触による災害が発生するおそれがあります。重機の可動範囲内への立入禁止や誘導員を置くなど十分な措置が必要です。



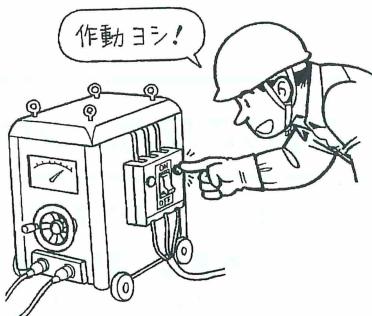
再崩落にご注意ください

土砂崩壊現場の修復工事や崩壊家屋・ブロック塀の解体工事などでは、再崩落等の危険があります。現場の状況を良く確認し、崩壊の危険に十分注意してください。



爆発・感電・不意の機械稼働にご注意ください

工場等の操業を復旧する場合は、非定常作業が多数発生します。過去には、爆発や感電、不意の機械稼働による災害などの発生が見られます。事前に十分な危険予測をお願いします。



防じんマスクの着用をお願いします

復旧工事等では、石綿を始めとして粉じんに暴露する恐れのある作業が予想されます。適切な発じん防止や封じ込め対策と併せて、防じんマスクの着用が有効です。

(日立労働基準監督署では、使い捨て防じんマスクを無償配布※しております)。

(※在庫に限りがありますので、ご了承下さい)



<主唱者>

日立労働基準監督署・(社) 日立労働基準協会

<協賛者>

建設業労働災害防止協会茨城県支部日立分会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城支部日立分会

陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城支部県北分会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会東京総支部日立支部

林材業労働災害防止協会茨城支部日立分会

